

## 平成26年度 地域・老年看護学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

岩井 恵子、増田 恵美、鹿島 英子、森永 聡美、  
吉村 牧子

### B. 研究活動

#### 1. 研究費執行の経過

ユニットの研究は、共同研究費、科研費、個人研究費による。

共同研究費は、「SP (Simulated Patient) 参加型看護

教育システムの構築」として平成25年度～26年度で採択され、研究を継続した。

科研費による研究は、挑戦的萌芽（課題番号24660067岩井恵子）、「超限界集落で生活をする高齢者の生活実態と保健医療的支援に関する研究」（平成24～26年）を継続した。

#### 2. 共同研究の経過

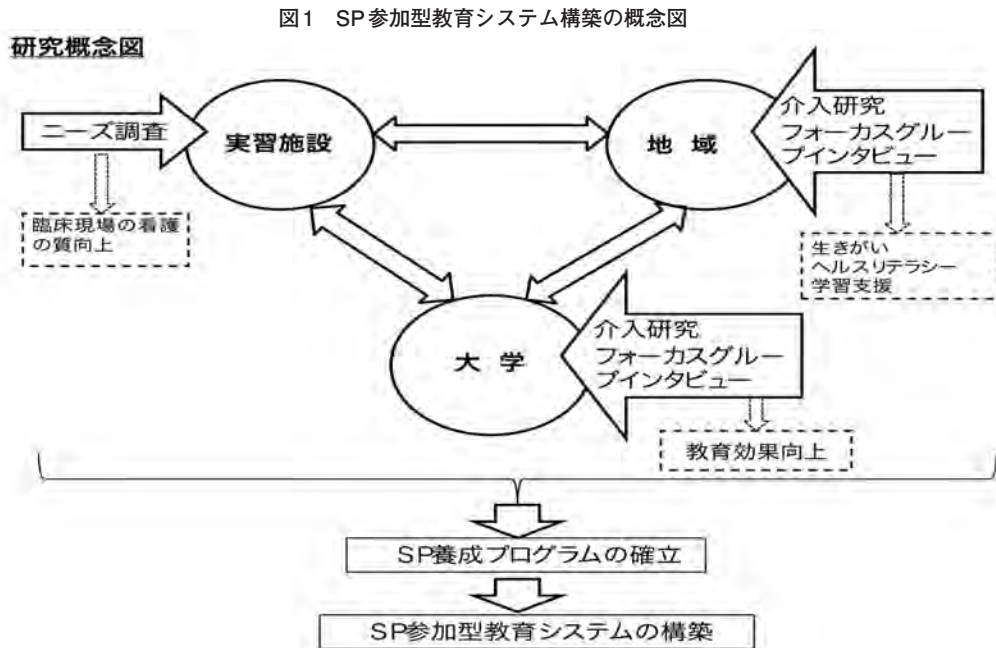
平成25年度より「SP参加型看護教育システムの構築」として研究を開始し、平成26年度は第2期くまとりSPを7名（男性1名、女性6名）養成した（表1）。

表1 くまとりSP第2期生養成講座

	月日	曜日	時間	内容		講師
pre	3 12	水	10 00 11 30		SP SP	岩井
1	4 7	月	13 00 15 00	養成講座①	コミュニケーションとは	井村
2	4 21	月	13 00 16 00	②	SP	藤崎
3	5 12	月	13 00 16 00	③	フィードバック 演習)	藤崎
4	5 21	水	14 30 16 00	④	SP	水越
5	6 4	水	10 00 11 30	⑤	DVD	鹿島
6	6 21	土	10 00 12 00	⑥	演習 役作り・フィードバック)	岩井
7	7 5	土	10 00 12 00	⑦	演習 役作り・フィードバック)	岩井
8	7 10	木	13 00 14 00		これからの活動	岩井
				修了式	学長より認定証授与	吉田学長

さらにSPの活動の拡大をめざし、介護福祉士養成校においての演習への参加およびそのためのシナリオ作成、平成27年度6月に予定している、実習病院での新人看護師教育での演習のためのシナリオ作成を行った。SP参加型教育システム構築の概念図（図1）に示すように、SPが単に保健看護学部での演習だけで活躍するのではなく、

地域、実習施設へと具体的に活動範囲が広がった。これはシステムの構築という意味では、大きな前進であった。今後はそれぞれでの活動の教育的効果を検証するとともに、実習施設や地域との連携を図り、さらにSP参加型教育システムの構築を進めていく。



### 3. 活動内容

表2

表2 2014年度 くまとりSP活動状況

回数	月日	曜日	内容
1	4月09日	水	SP研究会
2	5月14日	水	SP研究会
3	5月29日	木	保健看護学科3年生慢性看護論演習 糖尿病の教育入院患者への指導
4	6月11日	水	SP研究会
5	7月09日	水	SP研究会
6	7月18日	金	第46回日本医学教育学会参加★
7	8月05日	火	堺東高校体験授業（高校生との交流）
8	9月15日	月	第2回関西SP交流会に参加★
9	9月17日	水	SP研究会（2期生初参加）
10	9月26日	金	演技練習
11	10月01日	水	演技練習
12	10月03日	金	保健看護学科2年生老年看護方法論演習
13	10月10日	金	入院患者からの情報収集（シナリオ4種類） 演習についてのFGI
14	10月15日	水	（Focus Group Interview）
15	11月05日	水	SP研究会
16	12月10日	水	SP研究会
17	1月14日	水	大阪社会福祉専門学校にて演習参加（シナリオ3種）
18			SP研究会
19	2月18日	水	SP研究会
20	3月11日	水	SP研究会

★ SPのみ参加

## C. 研究業績

### 1. 原著

鹿島英子、増田恵美、森永聡美、吉村牧子、岩井恵子：高齢者SP (simulated Patient) の養成の課題，関西医療大学紀要，vol 8, 2015.

### 2. 学会発表

岩井恵子、吉村牧子、紀平為子他：認知症とともに超限界集落で暮らす高齢者支える要因の分析，日本老年看護学会第19回学術集会，2014.6.

吉村牧子、増田恵美、大橋純子、鹿島英子、吉本和樹、森永聡美、岩井恵子：高齢者SP (Simulated Patient) の自覚・やりがいの形成について，日本老年看護学会第19回学術集会，2014.6.

岩井恵子：超限界集落の成り立ちと存続の要因－和歌山県山間村落の構造と生活の変遷－，日本老年社会科学会第56回大会，2014.6.

石野レイ子、伊井みず穂、岩井恵子他：成人の運動習慣を継続するための支援プログラムの検討－参加者の認識－，日本慢性看護学会第8回学術集会，2014.7.

築田 誠、岩井恵子、石野レイ子他：模擬患者を導入したロールプレイング演習プログラムの検討，日本看護学教育学会第24回学術集会，2014.7.

石野レイ子、兒嶋章仁、岩井恵子他：成人の運動習慣を継続するための支援プログラムの検討－運動の成果－，日本健康心理学会第27回大会，2014.11.

岩井恵子、吉村牧子、紀平為子他：超限界集落における住民の生活実態について（第3報），第34回日本看護科学学会学術集会.2014.11.

石野レイ子、兒嶋章仁、岩井恵子他：成人の運動習慣を継続するための支援プログラムの検討－運動成果と認識－，第34回日本看護科学学会学術集会.2014.11.

### 4. その他

岩井恵子：大阪府保健師助産師看護師実習指導者講習会講師，大阪府看護協会，2014年6・10月2014年2月.